

ハミデル ハクブツカン

そもそも博物館ってなんだろう。
「資料の継承」「文化の振興」
なんて言葉を並べても、なんだか距離が遠いような。

だから、「見て・聞いて・触れる」体験、
非日常空間を活かしたイベントなどなど、
これまでの博物館の枠をハミダします。

その昔、平清盛が日宋貿易で活躍したのは知っていますか？
今と違って外国人は身近じゃなかったその時代。
貿易といえども、関西に外国人を招き入れるなんて、
当時としては異例の出来事でした。
でも、日本の経済活動に影響を与えるほどに大成功。
兵庫津は大勢の人やモノで繁盛する町になりました。

そして今、同じ地で、
固定観念をくつがえし
枠をハミダす自由さを
このハクブツカンはお見せします。

これまでも、これからも
たくさんの人やモノを繋ぎ、
はじまりの地となることを願って。

